

1995年は精神保健福祉法が制定された年。同時に、阪神・淡路大震災が。私たちが知るべきこととはどのようなものなのか…

開催日: 2025年7月18日(金)

会場: 神戸市立総合福祉センター4階A

テーマ: 阪神・淡路大震災から30年

— 現実問題の生活再建とメンタルヘルズに焦点を当てて —

参加費無料: 先着45名

基調講演

「人間復興の30年 — 生活再建の現実と心のケア —」

磯辺康子 神戸大学戦略企画室 特命准教授
／元 神戸新聞専門編集委員

対談

「生活安定剤としての経済的支援が今と未来に果たす役割」

青木聖久 日本福祉大学 教授 × 磯辺康子

主催: (公社)兵庫県精神福祉家族会連合会 / (特非)神戸市精神障がい者家族会連合会
／青木聖久研究室

<申込み方法>

下記の、青木聖久のメールアドレスに、①名前(ふりがな)、②所属先、③連絡先を記入のうえ、メールからお申込み下さい。

aoki@n-fukushi.ac.jp 6/25 ✕ 切

<お伝えしたいこと>

申込を頂いたら、必ず返信(申込番号)をします。仮に、4日を超えて返信が来ない場合は連絡をお願いします。090-5977-4670(問合先)

<プログラム>

- 13:00～13:30 受付
- 13:30～13:40 開会挨拶 新銀輝子（兵家連会長）
研修会企画の説明、講師紹介
青木聖久（日本福祉大学）
- 13:40～14:40 基調講演 磯辺康子（神戸大学）
休憩
- 14:50～15:20 対談 青木聖久 × 磯辺康子
- 15:20～15:40 グループワーク
- 15:40～15:55 2グループぐらいから発表・コメント
- 15:55～16:05 4点まとめ
- 16:05～16:10 閉会挨拶 涌波和信（神家連）

●磯辺康子氏プロフィール: 1989年神戸新聞入社。記者6年目で阪神・淡路大震災発生。以後、心のケアや生活・住宅再建をはじめ、震災報道を担当。1997年夏から1年間アメリカに留学し、災害後の心のケアを研究。2008年から2012年まで、記者・編集委員として、東京支社で、東日本大震災の政府対応や被災地の取材。2012年から2015年まで、報道部で震災20年報道を担当。2016年から、海外において日本語教育関係の仕事、あしなが育英会を経て、●●年から現職。

<会場案内>

【住所】〒650-0016 神戸市中央区橘通3丁目4-1
電話：078-351-1464（代）

【アクセス方法】

- ・神戸高速鉄道「高速神戸」駅より徒歩3分
- ・神戸市営地下鉄「大倉山」駅より徒歩5分
- ・神戸市営地下鉄「ハーバーランド駅」10分、
JR「神戸」駅より徒歩7分
- ・神姫バス「大倉山」バス停より徒歩3分

